



「熊本城 ～ 復興に向けて」

Kumamoto-Castle ～ Towards The Reconstruction



熊本城総合事務所

1. 熊本城の概要

(Overview of Kumamoto Castle)

- 築城者 (Builder) : 加藤清正 (Kato Kiyomasa)
- 築城時期 (Time Period) : 関ヶ原の戦いの頃に現在の位置に築城開始
慶長12年(1607)頃完成 (completed in 1607)
- 形式 (Format) : 平山城 (Hilltop castle) ※茶臼山と呼ばれた小高い丘の上
- 規模 (Scale) : 周囲 (circumference) 5.3km、面積 (area) 約98ha

(うち約57haが国指定特別史跡)

(Designated as a Special Historic Site)

1877年(明治10年)	西南戦争
1889年(明治22年)	熊本地震
2016年(平成28年)	熊本地震



震災前の熊本城の姿

2. 熊本城域の被害状況

(Damage in the Kumamoto Castle area)

2016年(平成28年) 熊本地震 (Kumamoto Earthquake)

◆2016年4月14日 21:26 前震 (Foreshock) (M6.5、熊本市中央区:震度5強)

◆2016年4月16日 01:25 本震 (Main shock) (M7.3、熊本市中央区:震度6強)

◆熊本城の被害(本震後) (Damage to Kumamoto Castle)

国指定重要文化財建造物 **13棟全て** (all 13 National Important Cultural Properties)

県指定重要文化財建造物 1棟

石垣 (Stone walls) 517面 / 973面

23,600m² / 79,000m² (崩落229面、8,200m²)

地盤 70箇所、12,345m²

再建・復元建造物 20棟全て

公園施設26棟

など → **(人的被害0)**

(No human casualties)



3. 熊本城復旧基本計画策定 (2018年3月)

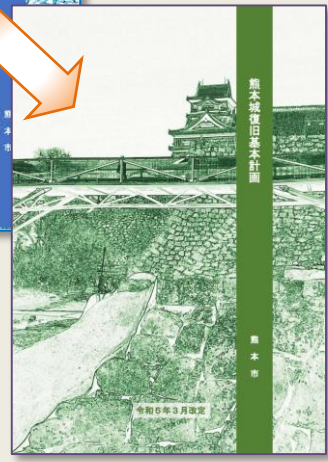
(Formulation of the Recovery Masterplan)

<基本方針>

※基本方針は2016年12月（地震から8ヶ月後）



- 1 被災した石垣・建造物等の保全
- 2 復興のシンボル「**天守閣**」の**早期復旧**
(early restoration of the castle keeps)
- 3 石垣・建造物等の**文化財的価値保全と計画的復旧**
(preservation of cultural value and meticulous recovery)
- 4 **復旧過程の段階的公開と活用**
(restoring and opening areas in phases)
- 5 最新技術も活用した安全対策の検討
- 6 100年先を見据えた復元への礎づくり
- 7 復旧基本計画の推進



<計画期間> 20年設定 ⇒ **35年**へ
(plan period) (20years) (35years)

【2023年3月改定】

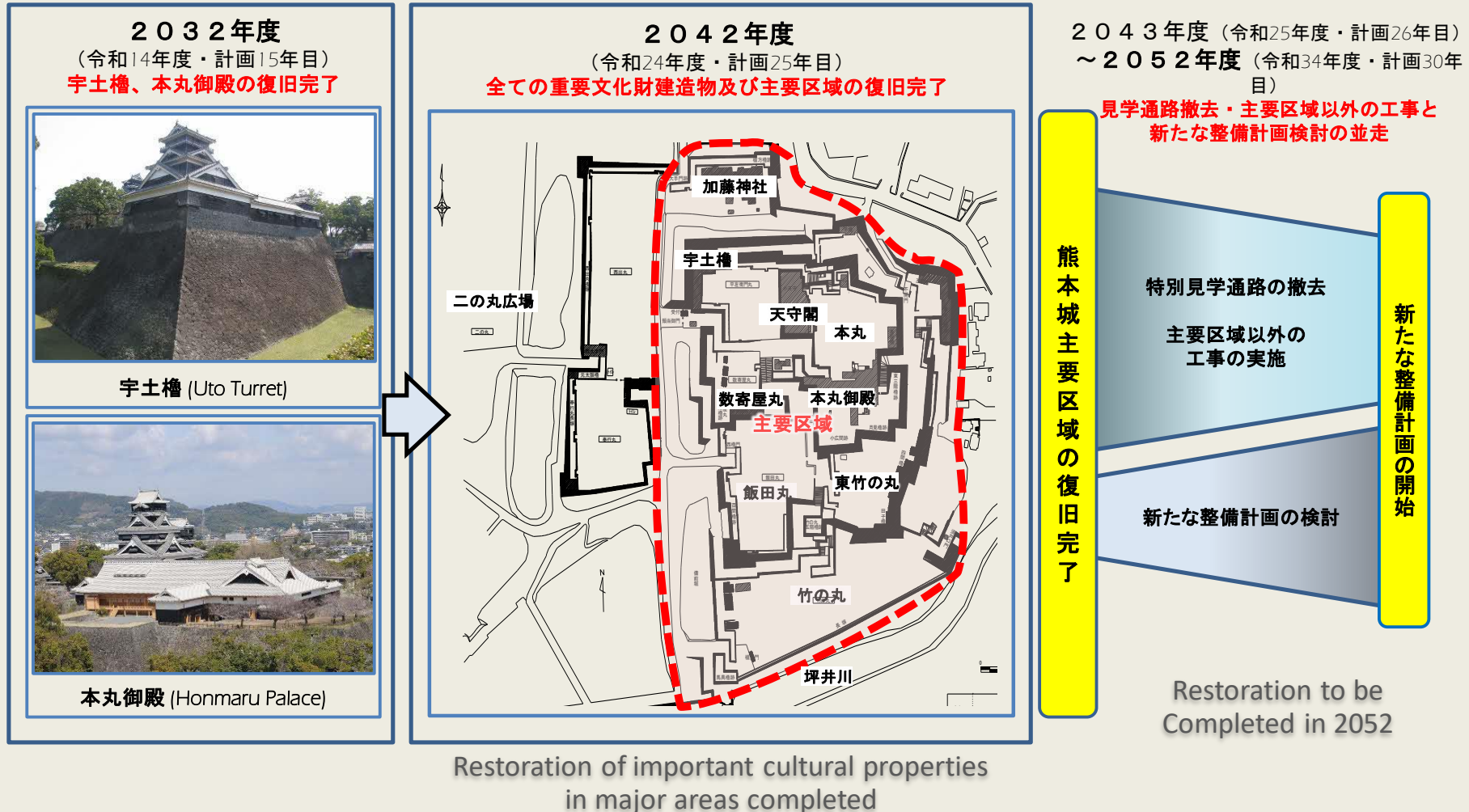
↑ 2022年度に計画見直し ↑ (revised estimate)

- ◎前例のない復旧作業は当初想定していた以上に各工程に時間を要する
- ◎復旧事業に携わる専門技術者等の体制に応じた事業量の設定

4. 復旧基本計画計画期間の改定

(Revised plan period)

○2032年度（計画15年目）、2042年度（計画25年目）に大きな節目
(major milestone)



○今後、新たに得られる知見や社会・経済情勢、建設環境の変化等に順応させ、5年ごとに検証を実施する

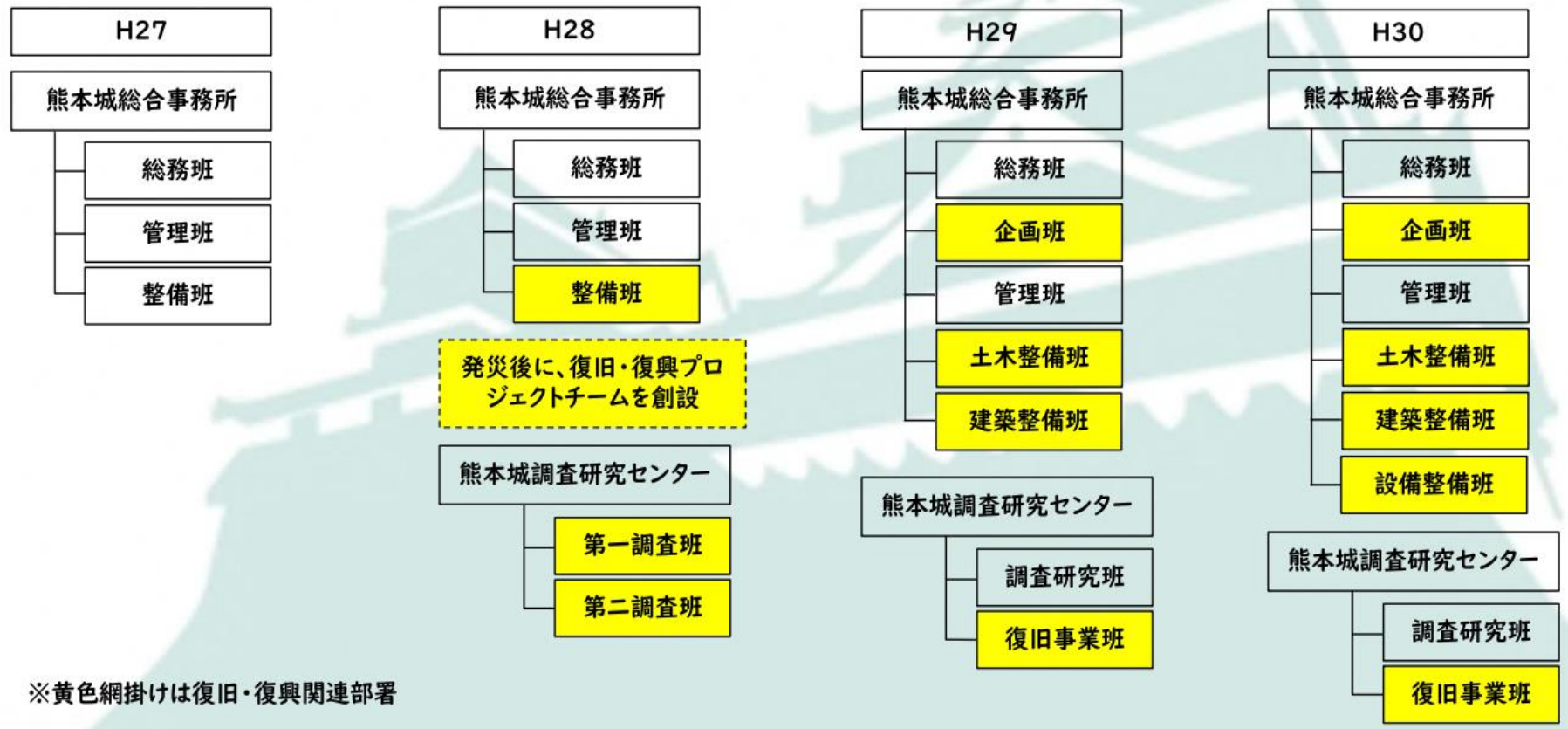
5. 復旧・復興体制

平成28年熊本地震により、熊本城は特別史跡熊本城跡としての文化財並びに熊本城公園としての都市公園の両面から、全域的に甚大な被害を受けた。その復旧には、長い歳月と多大な費用に加え、高い専門知識・技術・マンパワーを要することから、国県等の関係機関や関係団体との連携を図り、復旧に取り組んでいる。

特に、高い専門知識・秘術を持つ技術職員については、令和4年度末時点で延べ16自治体から34人の職員を派遣いただいた。

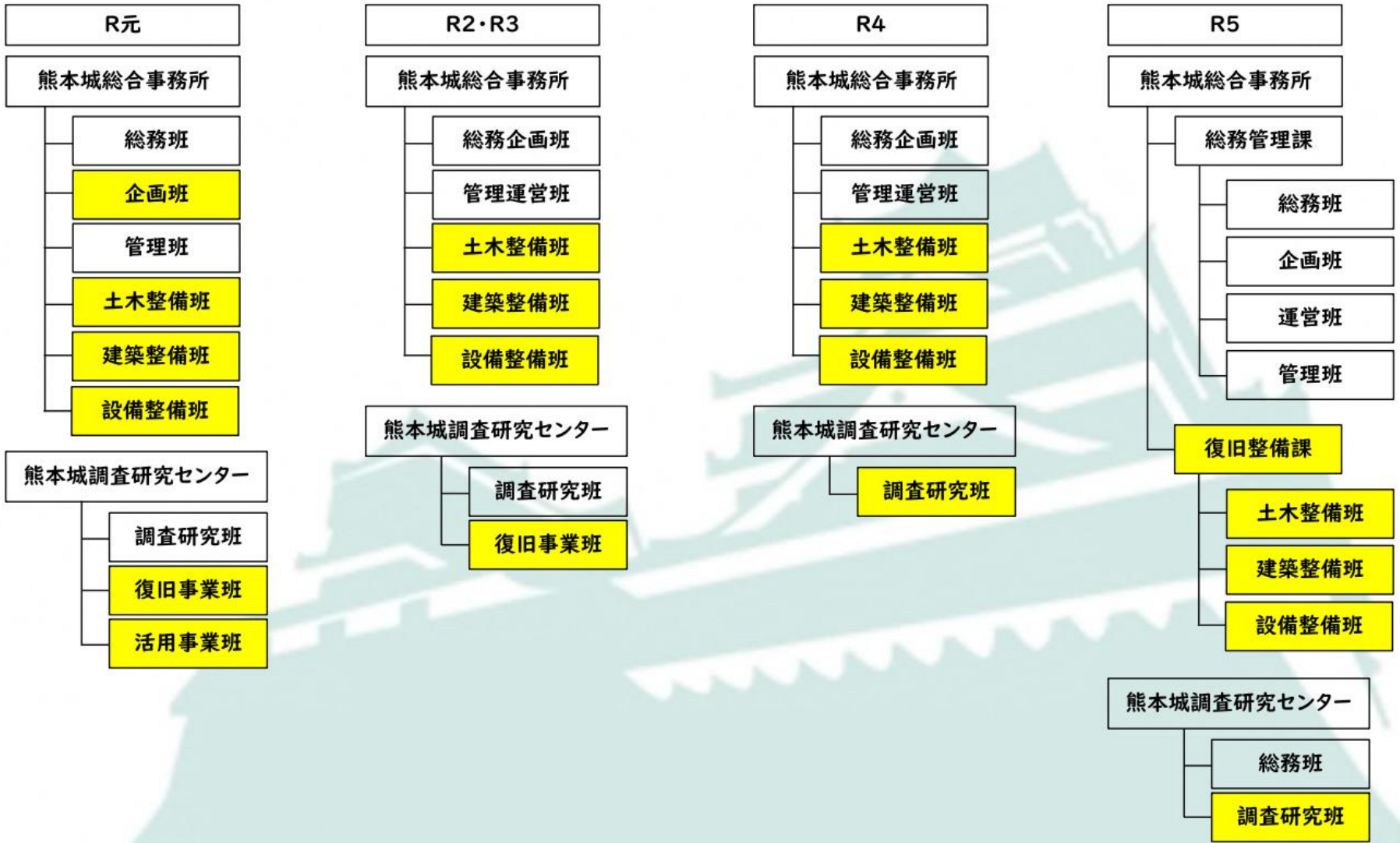
派遣にあたっては、自治体より個別に打診があったほか、文化財に関する職種については熊本県文化財課を通して文化庁へ、復旧工事に関する職種については熊本県市町村課を通して総務省に要請を行った。

復旧・復興に向けた組織体制



※黄色網掛けは復旧・復興関連部署

5. 復旧・復興体制



※黄色網掛けは復旧・復興関連部署

5. 復旧・復興体制

年度	組織体制	他都市からの派遣職員
H27	熊本城総合事務所 30名 熊本城調査研究センター 10名	
H28	熊本城総合事務所 29名 熊本城調査研究センター 11名	建築1(名古屋市)
H29	熊本城総合事務所 27名 熊本城調査研究センター 9名	事務1(世田谷区)、土木1(熊本県)、建築3(名古屋市、千葉市、熊本県)、文化財専門職5(滋賀県、仙台市、松本市、香川県、熊本県)
H30	熊本城総合事務所 30名 熊本城調査研究センター 10名	(15名) 事務2(世田谷区、小田原市)、土木2(横浜市、熊本県)、建築4(名古屋市、千葉市、京都市、熊本県)、文化財専門職7(滋賀県、仙台市、彦根市、浜松市、高松市2、熊本県)
R元	熊本城総合事務所 43名 熊本城調査研究センター 11名	(14名) 事務2(世田谷区、小田原市)、土木2(横浜市、熊本県)、建築4(名古屋市、千葉市、京都市、熊本県)、文化財専門職6(滋賀県、仙台市2、彦根市、沖縄県、熊本県)
R2	熊本城総合事務所 45名 熊本城調査研究センター 11名	土木1(熊本県)、建築1(熊本県)、文化財専門職2(福岡市(R2.10~R3.9)、熊本県)
R3	熊本城総合事務所 45名 熊本城調査研究センター 10名	土木1(熊本県)、建築1(熊本県)、文化財専門職2(大分県、熊本県)
R4	熊本城総合事務所 46名 熊本城調査研究センター 11名	土木1(熊本県)、建築1(熊本県)、文化財専門職2(福岡市(R4.10~R5.3)、熊本県)
R5	熊本城総合事務所 45名 熊本城調査研究センター 10名	土木1(熊本県)、建築1(熊本県)、文化財専門職1(熊本県) ※文化財専門職1(調整中(下半期))

※組織体制には他都市からの派遣職員は含まない

※熊本県とは人事交流の一環で職員を派遣していただいている

6. 復旧状況



宇土櫓
(Uto Turret)

天守閣
(Castle Keeps)

数寄屋丸二階大広間
(Sukiya Maru Hall)


本丸御殿
(Honmaru Palace)

特別見学通路
(Special Observation Path)

2020年6月撮影

被災直後の
熊本城天守閣





熊本城天守閣復旧
2021年3月

2020年6月撮影

被災直後の
飯田丸五階櫓

